

県庁の温室効果ガス排出量の状況（令和6年度）

令和7年12月
環境森林課

1 温室効果ガス排出の状況

- 令和6年度の温室効果ガス排出量は 49,771 t-CO₂ でした。
- 前年度比で 3.2%の減少、平成25年度(基準年)比では 35.9%の減少 となりました。
- 前年度から排出量が減少した理由としては、庁舎のLED化や太陽光発電設備の導入等により、温室効果ガスの排出に大きく起因している電気の使用量が減少したためと考えられます。
- 現在の第5期宮崎県地球温暖化対策実行計画では、令和7（2025）年度までに温室効果ガス排出量を平成25年度比で42.9%削減することを目標としており、より一層のエネルギー使用量の削減に取り組んでまいります。

図1. 温室効果ガス排出量の推移

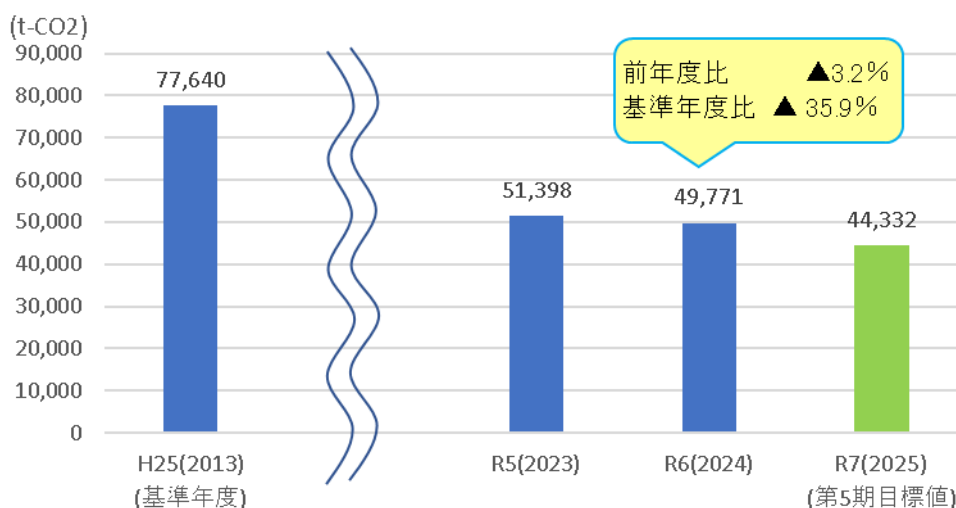
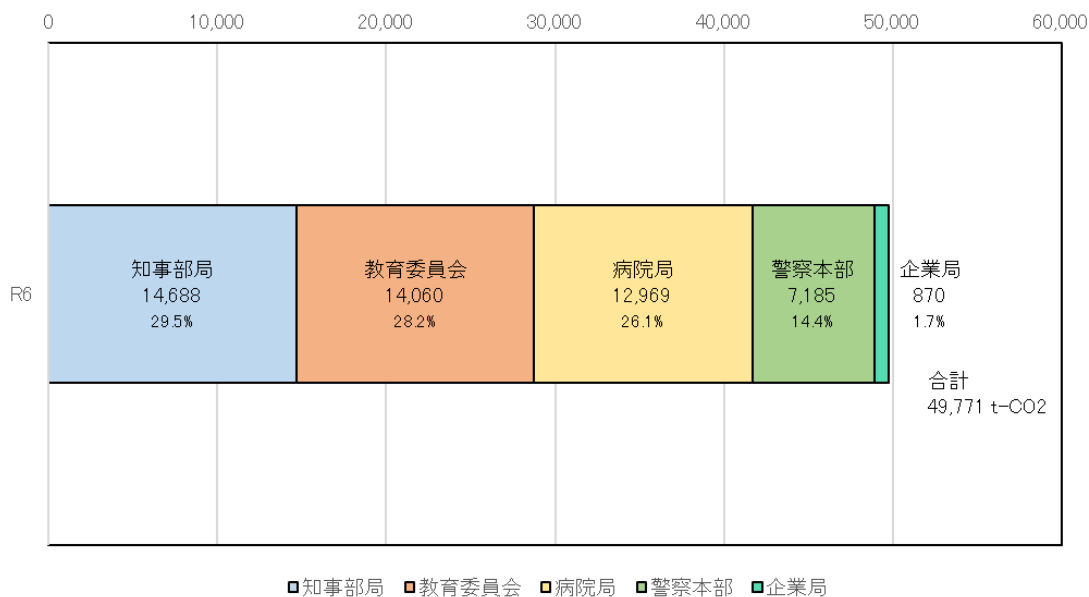


表1. 県庁の温室効果ガス排出量

	H25	R5	R6	R7(第5期目標)
排出量 (t-CO ₂)	77,640	51,398	49,771	44,332
平成25年度比 (%)	-	△ 33.8	△ 35.9	△ 42.9
前年度比 (%)	-	-	△ 3.2	

2 部局別の温室効果ガス排出量及び割合（令和6年度）

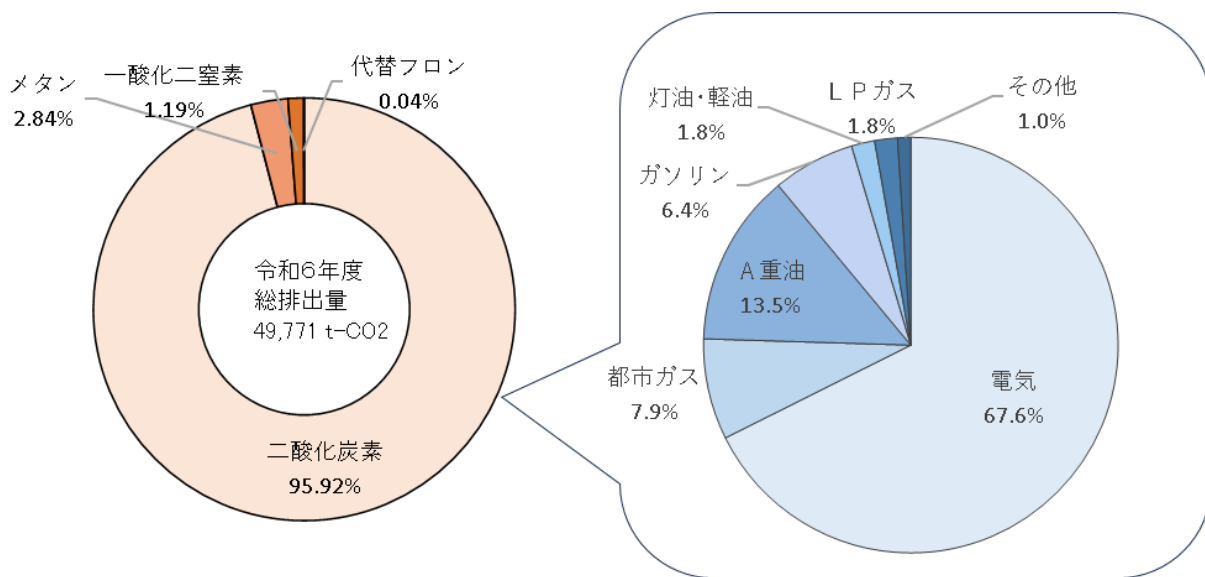
図2. 部局別の温室効果ガス排出量



3 温室効果ガス別内訳と二酸化炭素の燃料別内訳

- 温室効果ガス排出量のうち、二酸化炭素が全体の 95.9%を占めています。
- 二酸化炭素排出量のうち、67.6%が電気の使用に起因しています。

図3. 温室効果ガス別内訳(左)、二酸化炭素の燃料別内訳(右)



4 二酸化炭素排出量の推移

- 二酸化炭素排出源となる主な燃料の使用量を前年度と比較すると、電気と都市ガス、ガソリンの使用量は減少したものの、A重油は増加しました。

表2. 二酸化炭素排出量と増減率

	排出量(t-CO2)			増減	
	H25(基準)	R5	R6	H25比	前年度比
電 気	55,722	34,130	32,288	-38.8%	-5.4%
都市ガス	6,832	4,499	3,749	-34.1%	-16.7%
A 重 油	7,737	5,864	6,433	-24.2%	9.7%
ガソリン	4,115	3,073	3,067	-25.3%	-0.2%
LP ガ ス	422	727	849	72.3%	16.8%
灯 油	740	456	493	-38.3%	8.1%
ジ ョ ッ ト	0	419	490		17.0%
軽 油	618	331	370	-46.4%	11.7%
計	76,186	49,500	47,742	-35.0%	-3.6%

図4. 燃料別上位4種に由来する排出量の推移

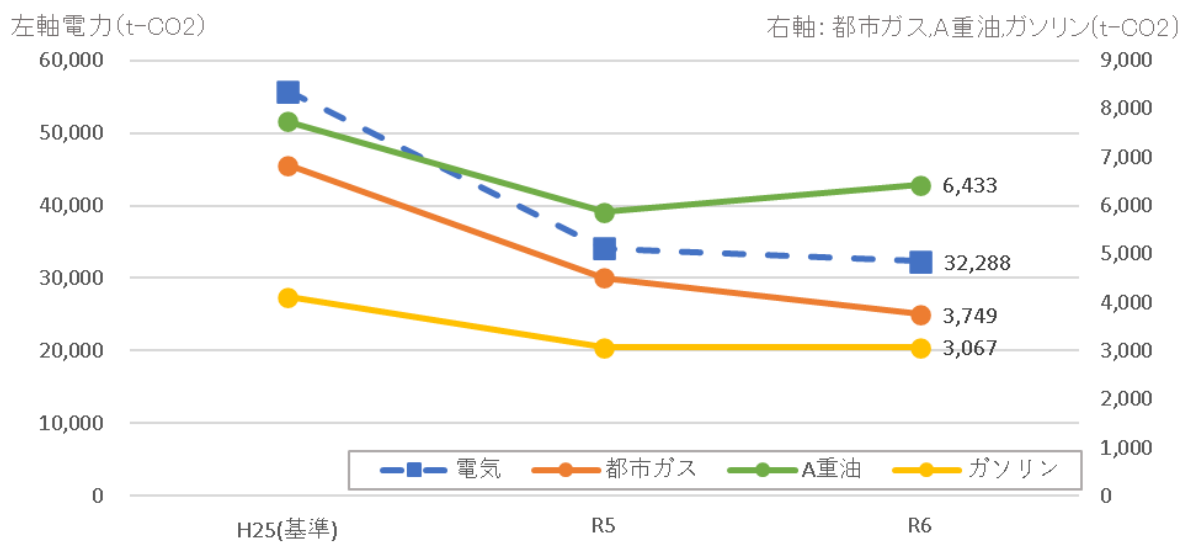


図5. 電力使用量の推移

